

市役所で働く薬剤師 ～ 長野県佐久市 「地域薬剤師」～

一般社団法人 佐久薬剤師会
井出 光輝
(佐久市役所 高齢者福祉課 地域薬剤師)

佐久市はこんなところ



総人口	98,536 人	
市面積	423.51 km ²	
世帯数	42,721 世帯	
65歳以上人口	30,406 人	
75歳以上人口	16,120 人	
高齢化率	30.9 %	
65歳以上就業率	25.9 %	
平均寿命	男性	81.7 歳
	女性	88.4 歳



佐久市特別観光PR大使
佐久の鯉太郎三二



北陸新幹線 - 佐久平駅

ぴんころ地蔵



【人口：令和3年10月1日付 佐久市人口基本台帳】
【就業率：平成27年度 国勢調査】
【平均寿命：平成27年度 生命表】

佐久市役所「地域薬剤師」について

誕生までの経緯

主な業務内容

佐久市役所「地域薬剤師」について

誕生までの経緯

主な業務内容

在宅医療・介護連携推進事業

8つの事業項目（平成26年度時点）

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

「医療介護連携推進協議会」の開催

「地域薬剤師」誕生のきっかけ：在宅医療・介護連携推進事業

佐久市の「医療介護連携推進協議会」

【目的】

各専門職業団体から提出された課題とそれに対する対応策の検討、およびその周知徹底と普及

【構成員：各団体より選出された委員19名】

- 佐久医師会
- 佐久歯科医師会
- 佐久薬剤師会
- 佐久平地域病院連絡会
- 浅間総合病院
- 佐久総合病院
- 地域ケアネットワーク佐久
- 地域包括支援センター（代表3地域）
- 佐久区長会
- 佐久市福祉協議会
- 佐久市居宅介護支援事業者連絡協議会
- 長野県訪問看護ステーション連絡協議会
- 有料老人ホーム等事業者連絡協議会
- 佐久圏域介護保険事業者連絡協議会（施設部会）
- 佐久圏域介護保険事業者連絡協議会（通所介護部会）
- 佐久圏域介護保険事業者連絡協議会（訪問福祉部会）
- 佐久保健福祉事務所

【内容】

- 年間4回開催
- 2題／回の課題を各委員持ち回りで提出し協議する
- 意見を取りまとめ、次回協議会において結論を示し同意を得る

「地域薬剤師」誕生のきっかけ：在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療・介護連携推進事業

8つの事業項目（平成26年度時点）

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

「医療介護連携推進協議会」の開催

薬剤師会からの協議課題

平成26年8月

「在宅高齢者における残薬問題について」

「地域薬剤師」誕生のきっかけ：在宅医療・介護連携推進事業

医療介護連携推進協議会

薬剤師会からの協議課題

平成26年8月 「在宅高齢者における残薬問題について」

佐久薬剤師会を中心に、地域包括支援センターの協力のもと**残薬調査**を実施

・ 残薬発生件数： **48 / 159 件 (30.1%)** ・ 薬価換算額： **242,508 円**

【調査の考察】

- ① 薬が多くなるほど、残薬の発生割合が増える
- ② 認知機能低下が疑われるケースが多くみられる
- ③ 独居高齢者に残薬が多い
- ④ 残薬はお薬手帳の有無に関わらず発生する
- ⑤ 医師・薬局・患者間での考え方の乖離やコミュニケーション不足がみられる

「地域薬剤師」誕生のきっかけ：在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療・介護連携推進事業

8つの事業項目（平成26年度時点）

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

「医療介護連携推進協議会」の開催

薬剤師会からの協議課題

平成26年8月

「在宅高齢者における残薬問題について」

平成29年2月

「残薬適正化から医療介護連携につながる

『地域薬剤師モデル』について」

「地域薬剤師」誕生のきっかけ：在宅医療・介護連携推進事業

医療介護連携推進協議会

薬剤師会からの協議課題

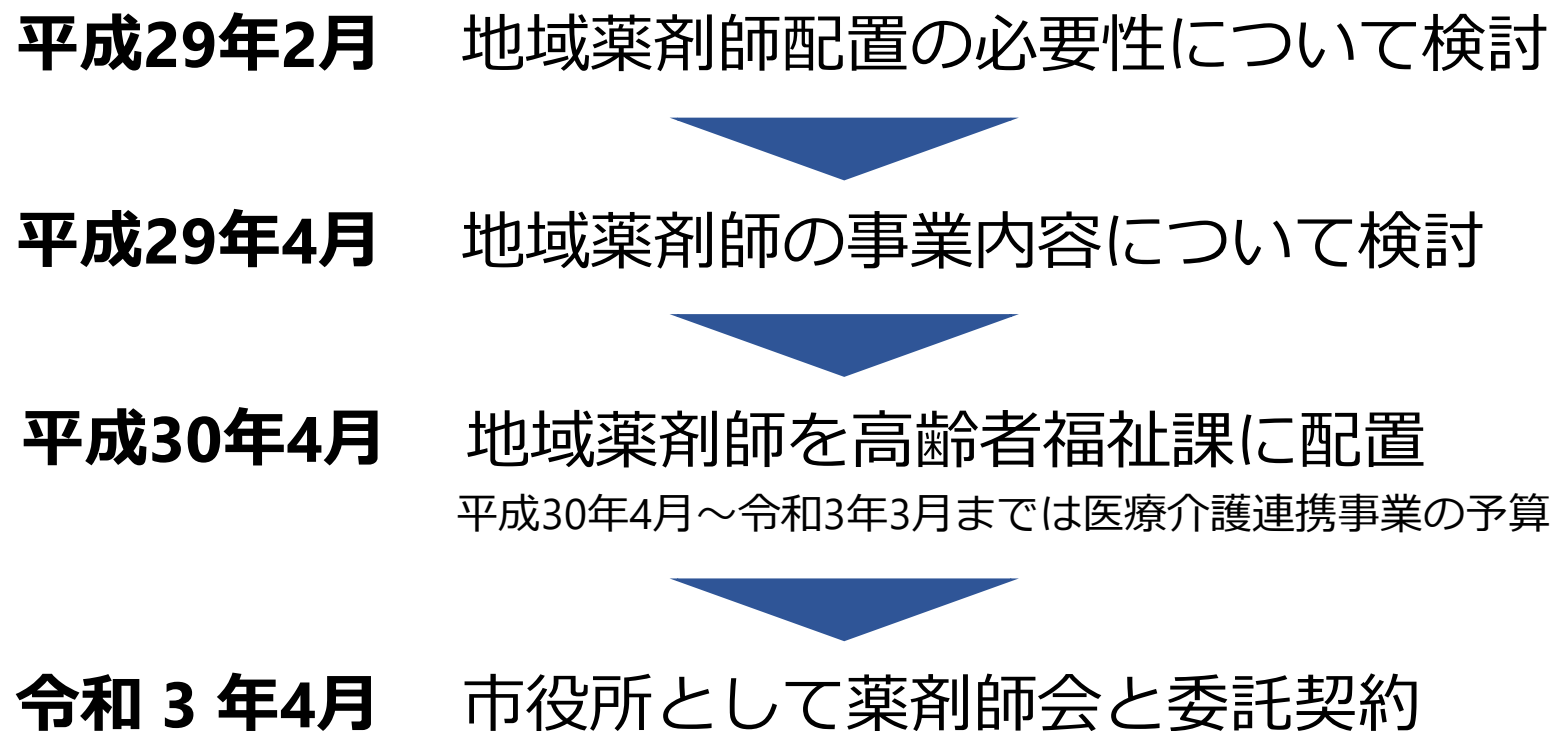
平成29年2月 「残薬適正化から医療介護連携につながる『地域薬剤師モデル』について」

【『地域薬剤師モデル』発案の経緯】

- 残薬発生の背景には**様々な問題が複雑に絡み合っ**て存在している
- 既存の薬局・病院薬剤師業務では対処できる問題に限界があるため、**複雑な問題に対して柔軟に対応する**新たな薬剤師職が必要である
- 『**地域薬剤師**』という**薬剤師職を市役所に設置**し、服薬指導や支援・相談を行うことで、残薬の解消や医薬品適正使用を推進でき医療費の削減につながるのではないか

「地域薬剤師」誕生のきっかけ：在宅医療・介護連携推進事業

佐久市役所における地域薬剤師検討～現在までの流れ



「地域薬剤師」誕生のきっかけ：在宅医療・介護連携推進事業

地域薬剤師の勤務状況

平成30年度

薬剤師の人数：1名 / 出勤日数：49日 / 経費：約50万円

令和1年度

薬剤師の人数：2名 / 出勤日数：72日 / 経費：約70万円
(7月までは1名)

令和2年度

薬剤師の人数：2名 / 出勤日数：90日 / 経費：約85万円

令和3年度

薬剤師の人数：3名 / 出勤日数：100日 / 経費：約120万円

佐久市役所「地域薬剤師」について

誕生までの経緯

主な業務内容

主な業務内容

医療介護関連職種
との同行訪問

サロン活動

カンファレンス
への参加

主な業務内容

医療介護関連職種
との同行訪問

サロン活動

カンファレンス
への参加

地域住民宅への医療介護関連職種同行訪問

同行訪問 3 step

- ① 佐久市内の様々な医療介護関連職種を相談者として、薬に関して気になることがあるケースや薬剤師の視点が必要と思われるケースを地域薬剤師にご紹介頂く。
- ② 対象ケースの地域住民宅へ相談者と地域薬剤師とで同行訪問。市販薬やサプリメントも含め服薬状況を調査し、薬剤師としてアセスメントを行う。
- ③ 適切なフィードバック先へケースに関する情報提供および対応依頼を行う。

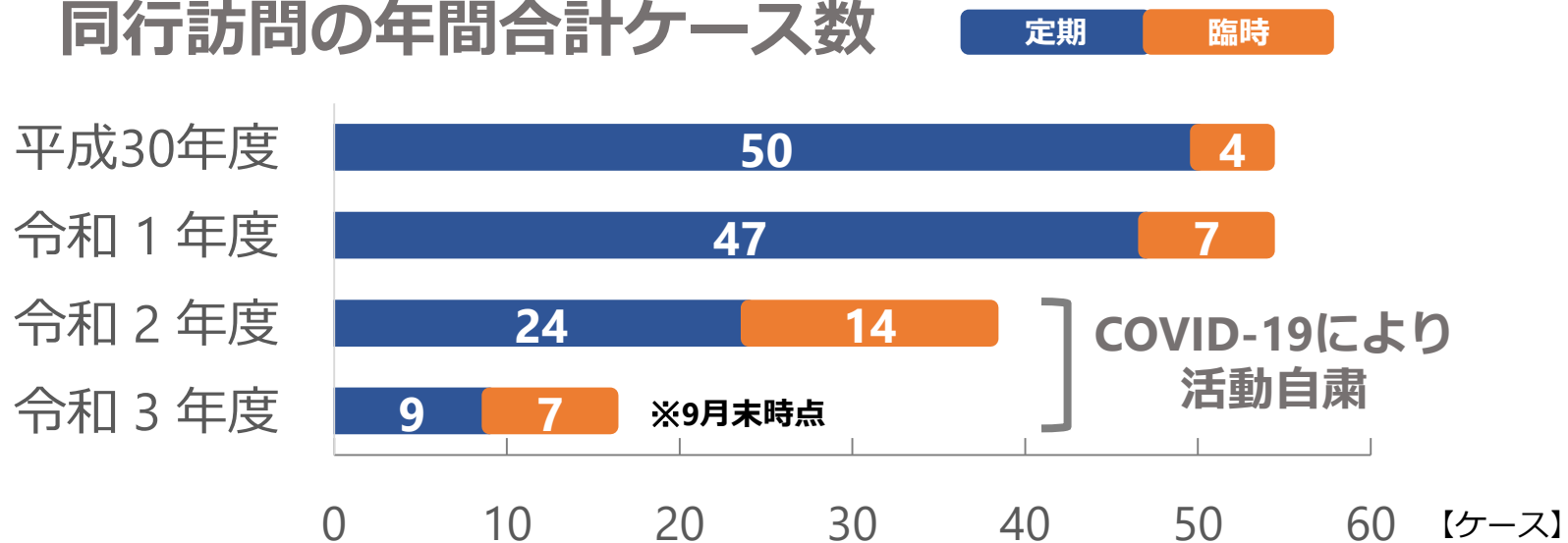


地域住民宅への医療介護関連職種同行訪問

同行訪問の種類

種類	依頼者	ケース数
定期同行訪問	地域包括支援センター (佐久市は6包括)	各包括年間2~4回 1~3ケース/回
臨時同行訪問	様々	1ケース/月程度

同行訪問の年間合計ケース数



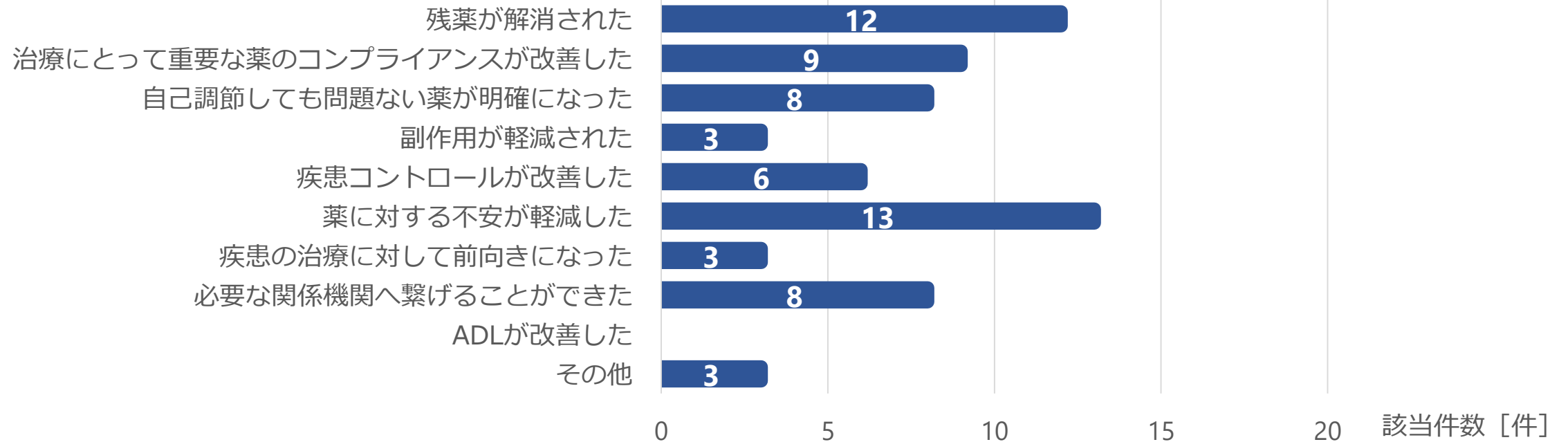
年度	臨時訪問の割合
平成30年度	7.4%
令和1年度	13.0%
令和2年度	36.8%
令和3年度	43.8%

地域住民宅への医療介護関連職種同行訪問

地域包括支援センタースタッフ22名に対するアンケート調査（令和2年3月）

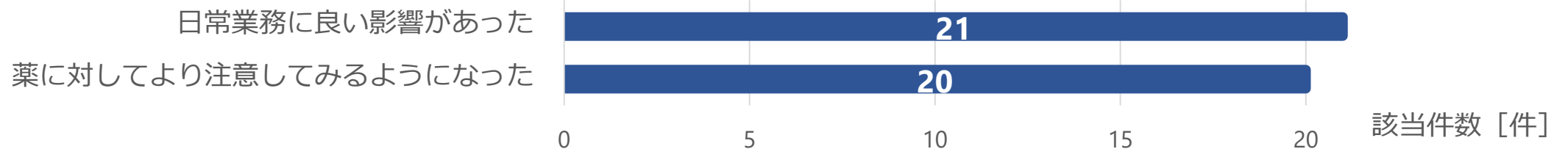
地域薬剤師介入による地域住民への影響

※ 該当する項目を複数選択



地域薬剤師介入によるスタッフへの影響

※ 該当する項目を複数選択



主な業務内容

医療介護関連職種
との同行訪問

サロン活動

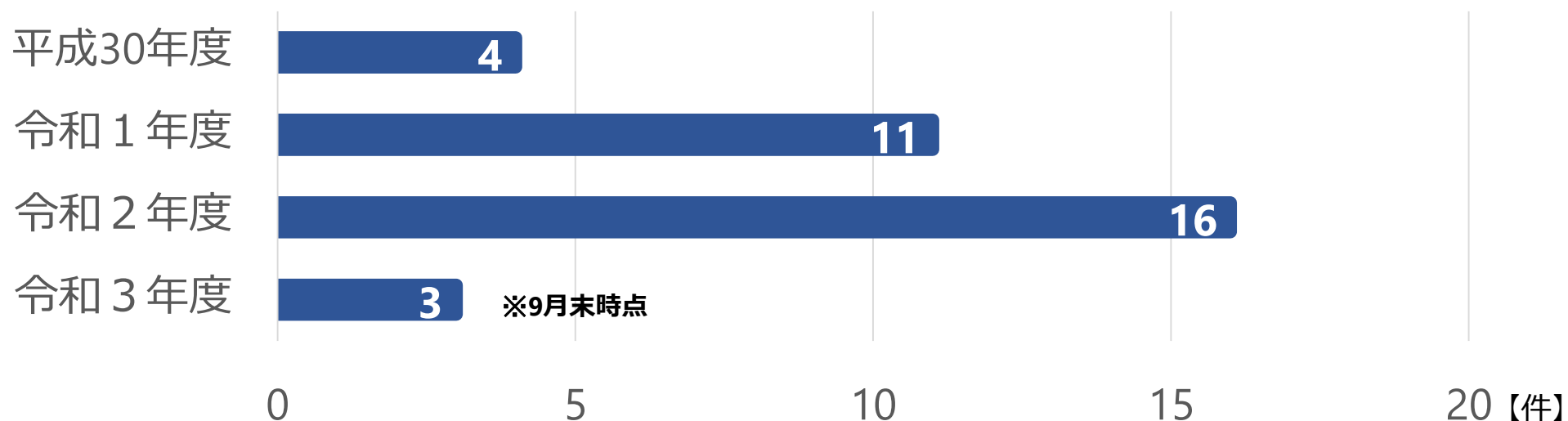
カンファレンス
への参加

サロン活動

地域薬剤師が行うサロン

- 地域住民向けのサロン・・・薬を中心に健康全般、薬局の上手な使い方 など
- 医療介護関連職種向けのサロン・・・市販薬等も含めた薬に関する知識 など

地域薬剤師が行ったサロン件数



サロン活動

【サロン活動に関する本年度からの取り組み】

地域薬剤師が行うサロンに地域の薬局薬剤師も参加



住民・行政・薬局間のつながりを構築

主な業務内容

医療介護関連職種
との同行訪問

サロン活動

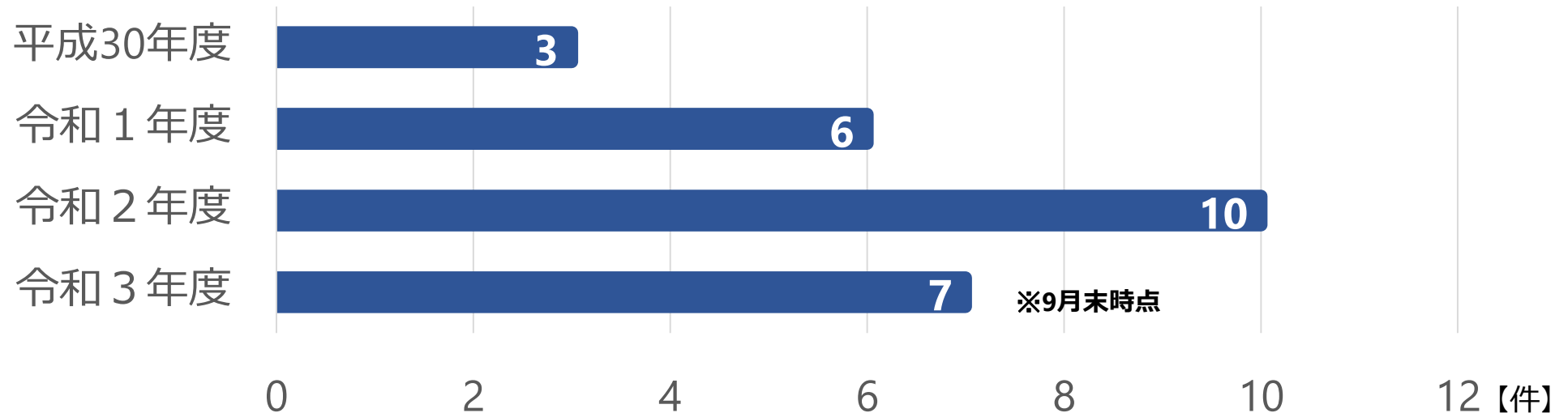
カンファレンス
への参加

カンファレンスへの参加

地域薬剤師が参加する主なカンファレンス

- 地域ケア個別会議
- フレイルカンファレンス

地域薬剤師が参加したカンファレンス件数



カンファレンスへの参加

「ADL低下」を薬剤師的な視点で見ると・・・

- 疼痛コントロールは十分か
- 排便コントロールは十分か
- 薬が食欲不振の原因になっていないか
- 薬のせいで意欲減退に繋がっていないか
- 転倒リスクになるような薬はないか
- 薬が睡眠に悪影響を及ぼしていないか
-
-
-



まとめ

- 佐久市では市役所に薬剤師が勤務する「**地域薬剤師**」という取り組みを行っている
- 誕生のきっかけは**在宅医療・介護連携推進事業**
- 地域において存在する**薬に関する複雑な問題に柔軟に対応**することが目的
- 主な業務は「医療介護関連職種同行訪問」「サロン活動」「カンファレンスへの参加」
- 取り組みの効果をご評価頂いており**勤務日数や予算は増加傾向**

ご清聴ありがとうございました

「地域薬剤師」に関するお問い合わせ先

佐久市役所福祉部高齢者福祉課 高齢者支援係

TEL : 0267-62-3157 (直通)